

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	地域保健活動普及等委託費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度		担当課室	がん対策・健康増進課保健指導室		尾田 進		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-6 地域の保健医療体制を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	先駆的保健活動交流推進事業について 保健指導支援事業の委託について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	別紙参照							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別紙参照							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	55	37	28	27	27	
	執行額	55	37	28				
	執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	保健所保健師及び市町村保健師数		成果実績	人	24,444	23,866	集計中	対前年度以上
			達成度	%	100	100	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	保健所保健師及び市町村保健師数		活動実績 (当初見込み)	人	24,444	23,866	集計中	-
					-	()	()	()
単位当たりコスト	1,173 (円/成果目標)		算出根拠	平成22年度執行額/平成22年度保健所保健師及び市町村保健師数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	委託費	27	27					
	計	27	27					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域の保健活動を担う、保健師の技術・技能の向上を図ることは、ひいては地域住民の健康保持増進につながる、優先度の高い事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	地域の保健活動を担う、保健師の技術・技能の向上を図るための全国的な調査研究を行っている事業がないため、国で実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	(公社)日本看護協会は、日本最大の看護職能団体であり、保健活動に関する調査研究やプログラム開発のノウハウも蓄積されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	単位あたりコストの削減は困難な状況であるが、消耗品等に係る支出の抑制等によりコストの削減に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	保健活動に関する調査研究やプログラム開発に必要な経費を補助対象としている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各事業の実施により、保健師の専門的な知識及び技能が向上され、ひいては地域住民の健康保持増進につながるものであり、他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	都道府県(保健所)及び市町村の保健師については、地方交付税の算定基礎の対象となっており、必要な保健師の計画的な増員が図られてきたところである。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	都道府県(保健所)及び市町村の保健師については、地方交付税の算定基礎の対象となっており、必要な保健師の計画的な増員が図られてきたところである。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	保健活動に関する調査研究やプログラム開発については、報告書において、広く活用されている。	
点検結果	<p>地域において保健活動を担う保健師の能力の向上を図ることは、国民の健康の保持増進を図る上で重要である。また、各事業について、団体のノウハウやネットワークを活用することにより効果的に実施されており、その成果は広く保健活動従事者に浸透している。また、各点検項目において妥当であり、成果、実績も達成されているため、本事業については、引き続き推進すべきものと判断。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性、予算の執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	298	平成23年行政事業レビュー	0272

平成23年度

厚生労働省
28百万円

先駆的保健活動支援事業
及び保健指導支援事業の
実施

【補助】

A.(公社)日本看護協会 28百万円

【競争入札等】

B 民間会社 5.5百万円

先駆的保健活動交流推進事業の
実施に伴う集計業務、賃金等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 日本看護協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師及び委員謝金等	3.8			
旅費	講師旅費、実行委員等旅費	10.5			
庁費	通信運搬費、印刷製本費等	3.9			
委託費	調査委託及び報告書作成費用等	1.7			
その他	賃金、借料及び損料	7.6			
計		27.5	計		0
B.有限会社 ペンハウス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	テープおこし	1.5			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本看護協会	先駆的保健活動支援事業及び保健活動支援事業の実施	28		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)ペンハウス	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴うテープ起こし	1.5	随意契約	
2	(株)大和総合印刷	市町村保健活動のあり方に関する検討報告書 等	1	5	33%
3	下橋速記事務所	保健師の継続的支援のあり方検討ワークショップ等	1	随意契約	
4	勝美印刷	保健師活動基盤強化コンサルテーション事業報告書	1	3	33%
5	(株)アドレス・インフォメーション	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴う報告書の発送業務等	0.4	3	33%
6	(株)プリカ	生活習慣病予防における効果的な継続的支援報告書等	0.4	随意契約	
7	社会保険研究所	「市町村保健活動のあり方に関する検討」集計・分析業務	0.2	2	50%

地域保健活動普及等委託費

<p>事業目的</p>	<ul style="list-style-type: none">・先駆的保健活動交流推進事業 地域における保健活動の多様化に対応するため、新たな地域保健活動の手法等の把握・開発・普及等により、地域保健活動の質の向上に資する。・保健指導支援事業 効果的かつ効率的な保健指導の実施を推進するため、保健指導技術に関する研究や学習教材の開発、困難事例に対する助言・指導等により、保健指導の技術・技能の向上に資する。
--------------------	--

<p>事業概要</p>	<ul style="list-style-type: none">・先駆的保健活動交流推進事業(23年度) さまざまな分野で活動する保健師の現状・意識等について調査を行い、その結果を分析して保健師をとりまく課題等を検討する。また、地域保健活動を担当する保健師の技能・技術を向上させるための研修プログラムを検討するとともに、研修会を開催する。・保健指導支援事業(23年度) 困難事例等を題材として保健指導の実践事例検討会を各地で開催し、活動領域や立場の異なる保健指導実施者同士が自らの実践を振り返り意見交換を行うことを通して保健指導のスキルアップを図る。また、効果的な保健指導実践事例や保健指導プログラムを収集し、普及を図る。
--------------------	--